

日刊 動労千葉

81.6.18 No.768

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五〜六(公衆)三三三(三)二七二〇七

本物の労働運動がここにある! 動労千葉に結集して闘おう



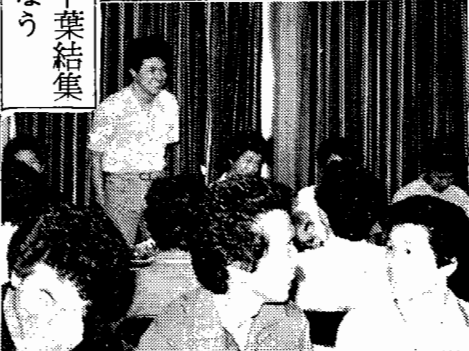
新入組合員歓迎会

更に帰任者全員の動労千葉結集めざし、その中軸をになう

歓迎会は吉岡教宣部長の司会で始まり、最初に中野書記長が歓迎と激励のあいさつで三年間の労をねぎらったのち、「動労千葉はどのような労働運動をめざすのか、若い諸君の任務は何か」を明確な言葉で述べ、これからも続く動労「本部」反動分子との組織闘戦にキッパリとうち勝っていくことの重要な意味について話し、参加

者の多くが実感をこめ理解していった。

続いて、帰任者11新入組合員の仲間たち一人一人が立って自己紹介や決意・抱負を述べると、一きわ大きな拍手と歓声が上がる。成田支部日暮支部長の音頭で乾杯のあと、和気合々の会食に移っていった。歓迎会の最後に、新入組合員の代表の音頭で肩を組み合つての組合歌合唱、団結ガンバ



こうして、わが動労千葉が組織の総力を傾けて突入している「組織強化・拡大」六月総決起行動」は画期的な勝利を日に日に切り拓きつつある。

あいつぐ組織戦の敗北に焦り、凶暴化する「本部」反動分子

この勝利は、「本部」反動分子に決定的な大打撃を与えた。焦る彼らは、遂に自らの反労働者性をむき出しにして名うての「コロビ屋」革マル分子嶋田を使つてなデッチ上げ・タレコミ固告訴という権力と完全強に一体となった反労働者の暴挙に走った。我族々はこの様な卑劣な陰謀を断じて許さず、嶋田誠をはじめ、権力一員本部」反動分子を千葉組の地から解体・一掃す全べく断固として闘いぬいていかねばならない。

千葉市議 補欠選挙 中堀きみ子さん当選。

去る六月十四日行われた千葉市議会議員補欠選挙(市長選と同時投票)において、社会党公認・中堀きみ子候補が、激戦の末、他候補を一まわりひきはなして堂々の当選を果たした。軍事大国化・核武装・生活危機・福祉後退等々、厳しい波が一挙的におしよせる中、六名の候補が一議席を争う選挙戦に中堀候補が勝利した意味は大きい。動労千葉は第十三回支部代で推選を機関決定し、

連日の闘争の渦中で、幕張・千葉転・蘇我支部はじめ千葉市在住組合員の全力を上げて選挙戦を闘ったが、このエネルギーを行動力の成果が実ったといえよう。

(当選)・中堀きみ子(社会党) 二、六四五票
(次点)・本間 進(保守系無所属) 二、一九六票
(次々点)・ふくなが洋(共産党) 二、〇九七票
(以下省略)

三年間の仙台局勤務から帰任した四八名(内四名は国労組合員)の若い仲間が千葉局各配属区での手続きを終了して、六月十五日、千葉鉄道学園に入学した。動労千葉は全力をあげて動労千葉への結集加入のオルグを展開し、六月十五日現在四四名中の二八名の仲間が動労「本部」から決別し、新たに動労千葉の戦列に加わるといふ画期的な成果を勝ちとった。

そして十五日の学園終了後、動労千葉各支部代表の激励・歓迎の

仙台からの帰任者28名の仲間を迎えて『新入組合員歓迎会』開く

ローで、今後更に多くの仲間呼びかけ、帰任者全員の動労千葉結集を勝ちとっていくべく互いの奮闘を約して二〇時前、終了した。

集を勝ちとっていくべく互いの奮闘を約して二〇時前、終了した。

組織破壊攻撃を粉碎せよ